

えん + じん

発行：
多賀城市民活動サポートセンター
(たがさぼ)

第1号 【毎月1日発行】

発行日：平成23年10月1日

◇多賀城市震災復興応援情報誌の名前が決まりました◇

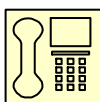
その名も「えん + じん」

☆市民が復興の「原動力(エンジン)」となる☆

☆みんなで「円陣(えんじん)」を組み復興に向かおう☆

☆人と人とのつながり「縁(えん)・人(じん)」☆

「えんじん」は、「多賀城に住むみんなが手を取り合って復興に向かって進んでいこう!」という想いを形にするため、多賀城の全ての方に被災者支援や震災復興に役立つ情報を届けています。



NPO相談窓口

被災された方の困りごとや悩みごとに対応する相談窓口を紹介します。

●せんだい若者サポートステーション●

働くための一歩を踏み出したい人たちへの支援をします。一緒に生き方・働き方を探しましょう。(仕事の紹介はしていません)

対象：15歳から概ね40歳未満で現在お仕事をしていない方、またはその保護者の方

団体：NPO法人わたげの会

電話：022-246-9685

時間：午前10時～午後5時(月～金曜日)

HP：http://www.saposute.ne.jp/

●いのちの電話「震災ダイヤル」●

震災による悩みを相談してください。不安な気持ち、つらいこと。話してみませんか。

対象：震災により不安を抱える岩手、宮城、福島、茨城の方

団体：一般社団法人日本いのちの電話連盟

電話：0120-556-189(通話料無料)

時間：午後1時～午後8時(毎月10日は除く)

HP：http://www.find-j.jp/

●被災地障がい者センターみやぎ●

障がい者自身が運営している団体です。同じ障がい者の視点に立って地域生活をサポートします。気楽にご相談ください。

対象：障がい者の方

団体：被災地障がい者センターみやぎ

電話：022-746-8012

時間：午前10時～午後6時(月～金曜日)

HP：http://blog.canpan.info/tasuketto/

E-mail：cil.busshi@gmail.com

●宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」●

自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害を有している方やそのご家族、また、支援を行っている方からの相談に応じます。

対象：発達障害を有する方やご家族、それに関わる方

※仙台市を除く宮城県全域

団体：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

電話：022-376-5306

時間：午前9時～午後4時30分(月～土曜日 ※金曜日を除く)

HP：http://ekubo.blog.ocn.ne.jp/blog/

E-mail：m-ekubo@abelia.ocn.ne.jp

※件名を「メール相談」として下さい。

たがさぼでは、困りごとを抱えた方に対して、上記以外のNPOの情報も提供することができます。また、震災復興や多賀城をより良くするための活動を行っている方やボランティア活動をしたいと思っている方へ活動に関する様々な相談に応じています。

NPOに関する情報が必要な方は、ぜひたがさぼまでご相談ください。来館はもちろん、お電話でも受付けております。

延藤安弘さん「ココから始めるまちの復興」

6月9日(木)大代地区公民館で地区の方を対象に「NPO法人まちの縁側育み隊」代表理事延藤安弘さんによる幻燈会「ココから始めるまちの復興」がありました。延藤さんは、建築の専門家として住民が主人公になれる元気なまちづくりを多く実践されてきた方です。写真を映し出ししながら、阪神淡路大震災で大きな被害のあった神戸市長田区真野地区で行われている住民主体のまちづくりや、人のつながりが生まれる集合住宅の事例紹介などを交え、以下のポイントをお話いただきました。



延藤安弘さん

1. たがいに危機感と夢を分かち合い、希望の道すじを発見しよう！

知恵を出し合い、話し合っていくことが、復興に向けたはじめの一步、そして復興に向けて続く道のりの中で大事なことです。

2. がまんも大切、楽しくことを運ぶことはもっと大切！

苦しい状況をのり越えていくときには、お祭りや一緒にごはんを食べるなど楽しいことをすることで、希望をお互いにわかち合うことができる。若い世代と一緒にやったり、子どもの参加を促していくことも大事な視点。

3. じわじわと暮らし、住まい、まち再生の気持ちづくりから入っていこう！

拙速にものごとを進めるのではなく「じわじわと」が大切。

4. よろこびをわかち合えるふるさと再生の有縁コミュニティをめざそう！

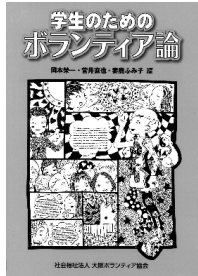
行政・企業などいろいろな人を味方にしながら、多賀城にふさわしい多世代が混ざり合うコミュニティ住宅について語り合い、学びあえる場を継続的に進めてみよう。

5. うっとうしいトラブルをエネルギーに変えよう！

対立、不満、不平が多発するのは当たり前。どうしようもないときには、わがまちの宝物(=知恵や発想を持つ人)を探しに出かけよう。地域は人材の宝庫である。

頭文字をとると「たがじょう=多賀城」となるようにまとめられたキーワードには、NPOや町内会など復興に向けた市民の活動を進める上で、前向きに取り組めるポイントが詰まっています。延藤さんから送られた多賀城へのエールをもとに、たがさぼも復興活動を応援していきます。

たがさぼブックレビュー



『学生のためのボランティア論』
著者:岡本榮一・菅井直也・妻鹿ふみ子編
発行:大阪ボランティア協会
発行日:平成18年12月1日

「ボランティア」という言葉を聞いたことがないという人は、ほとんどいないでしょう。今回の震災では、多賀城にも全国からたくさんのボランティアが訪れ、被災者支援や復興に向けてさまざまな活動を行って来ました。一方で、「ボランティア=無償」といったように、言葉の意味や役割に対する誤解や思い込みがあります。

この本では、ボランティアの動機・理念・思想から具体的な活動の手がかり、方法まで幅広く紹介しています。各章の終わりには「さらに学びたい人へのお勧めの本・ウェブサイト」が紹介されているので興味のある分野をさらに深めることができます。ボランティアに興味を持たれた方はぜひお手にとってみてください。学生の方はもちろん、どなたが読んでも活動の手がかりになる本です。【スタッフ 桃生】

☆たがさぼ文庫で貸し出しています。

- たがさぼ文庫
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。震災関連特設コーナーをつくりました。
- 図書販売コーナー
NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。

多賀城 イベント紹介

多賀城月の市

「多賀城月の市」は、史都多賀城に活気と絆を取り戻すことを目的に開催している市です。行政、企業、NPOによる実行委員会(たがさぼも参加しています)を結成し、三者がそれぞれの強みを活かしながら、地場産品の販売や魅力的なイベントを実施していきます。お時間のある方はぜひ会場に足を運んでみてください。

『多賀城月の市』

日 時:平成23年10月22日(土) 午前11時~午後4時
場 所:JR仙石線多賀城駅前
入場料:無料(販売物には料金がかかります)
主 催:多賀城月の市実行委員会
ブログ:<http://ameblo.jp/tsukinoichi/>

<今後の開催日時(予定)>

11月19日(土)、12月10日(土)
いずれも時間は午前11時~午後4時

□発行:多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
(多賀城市文化センター北隣、上水道部向かい)
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706
ホームページ:<http://www.tagasapo.org/>
スタッフブログ:<http://blog.canpan.info/tagasapo/>
□編集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター